

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 135

江戸川区立東葛西小学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第6学年			学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	+5	0	+5	令和8年度の目標	+1.5	+1.5	+3.5	+1.0	+3.5	+3.5	+1.0	+1.0
令和7年度の結果	+2	-3	-1	令和7年度の結果	+3.4	+0.8	+3.2	+3.4	-1.5	-2.7	+3.0	+6.1
令和6年度の結果	0	-5	-5	令和6年度の結果	-1.2	-2.4	-3.2	-5.3	+1.2	-1.4	-0.7	-3.5
令和5年度の結果	+5	-1	+4	令和5年度の結果								

年度	令和7年度 成果と課題		令和8年度 目標		令和8年度 目標達成に向けた取組	
内容						
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> CD層の底上げを目指し、校内研究で算数科の取り組みを増やしたり、朝学習の時間を活用して児童が苦手とする文章読解の問題に取り組みさせた結果、区学力調査における平均正答率を上げることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年によっては、CD層の割合が未だ半数程度を占めている。 		<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 区学力調査では全ての学年において、国語・算数共に平均正答率75%以上を目指す。 基礎学力の定着を図り、CD層からB層への底上げを目指す。 		<p>目標達成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年に準じた校内算数検定や校内漢字検定を実施し、基礎学力の定着を図る。 読書活動を推進し、児童の読解力の向上につなげる。 朝学習の取り組みとして、文章読解ワークシートや読むYOMUワークシートに取り組み、文章読解力の向上を目指す。 算数科の授業時間を活用し、百マス計算プリントに取り組み、計算力の向上を目指す。 家庭学習キャンペーンを設定し、家庭学習の定着を図る。 	
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科の授業研究に取り組み、自分の考えをもつことができる児童が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科の足し算・引き算では、10までの基本的な計算でも指を使わないと答えを出せない児童が一定数いる。 カタカナの定着度が低い。 		<ul style="list-style-type: none"> 算数科では、基本的な足し算や引き算の定着を図る。 国語科では、全児童がひらがな50音、カタカナ50音の読み書きができるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> 算数科の授業のはじめ5分程度を用いて、基本的な計算の学習を繰り返す。 ひらがな、カタカナの学習が終わり次第、月1回程度小テストを行う。2学期末には、50音表のテストを行うことにより更なる定着を図る。 	
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科や算数科でのノート指導を行い、ノートを使って既習事項を振り返る様子が見られた。 校内算数検定(九九唱え)や校内漢字検定では、全体の9割以上が合格することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着や家庭学習習慣の確立が不十分な児童や自分の考えを表現する際に支援が必要な児童が1割程度いる。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、表現できるようにする。 校内算数検定や校内漢字検定において、全員の合格を目指す。 		<ul style="list-style-type: none"> 授業スタンダードに基づき、「見通し」や「自分の考え」をまとめる際に考えを表現する時間を設け、ノート指導を行っていく。 掛け九九唱えの練習カードを作成し、学校と家庭学習において定着を図っていく。 放課後補習の時間を活用し、C層の児童への支援を行っていく。 	
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科では、段落のまとまりを意識して、文章を読んだり書いたりできる児童が増えた。 区学力調査の結果においては算数科の基礎・基本的な知識・技能の正答率が79.1%と概ね身に付いている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区学力調査の結果によると、国語科においては、文章を読み取り、自分の言葉でまとめる力が弱い。 算数科においては、既習事項を活用した応用問題の正答率が低い結果となった。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを表現できるよう、語彙を増やす。 8割の児童が漢字テストに合格できるようにする。 基礎・基本的な知識・技能の定着率を高め、すべての児童が自分の考えを言葉や図などで表すことができるようにする。 区学力調査の応用問題の正答率を5割以上にする。 		<ul style="list-style-type: none"> 国語辞典を活用して、言葉の意味を調べたり、文の中で使う活動を取り入れる。 授業の導入で定期的に漢字ミニテストを実施する。 授業の導入で既習事項を振り返るフラッシュカードを行う。 習熟度別の授業では、児童の実態に応じて、応用問題を用意し、解き方の確認をする。 	
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科も算数科も区の学力調査で、全国平均を上回る結果となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内九九検定の不合格者がクラスに一人はいる。 算数科においては、CD層が40%程度いる。 		<ul style="list-style-type: none"> 全児童が校内九九検定に合格する。 国語科では、話すこと・聞くことの領域を伸ばす。 		<ul style="list-style-type: none"> 校内九九検定においては、1学期に合格しなかった児童も粘り強く取り組み、合格を目指す。 話す・聞く力を伸ばすために、発表したり聞いたりする機会を意図的に設ける。 	
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区学力調査では、国語科の応用問題において、全国平均正答率より1.7%上回ることができた。 昨年度に比べ、区学力調査における算数科のD層の割合が大きく減少した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区学力調査では、国語科・算数科共に、基礎の問題における平均正答率が全国平均よりも下回っている。 校内検定の結果より、漢字の定着率は3割弱、九九の定着率は7割程度にとどまっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 国語科、算数科共に基礎学力の定着を図り、CD層からB層への底上げを目指す。 区学力調査では、国語・算数共に、全国平均を上回るようにする。 校内九九検定では全員合格、校内漢字検定では半数以上の合格を目指す。 		<ul style="list-style-type: none"> 算数科の授業の冒頭10分程度を活用し、百マス計算やフラッシュカードなどに取り組み、基礎学力の定着を目指す。 国語科では、こまめに漢字のミニテストを実施し、着実に漢字を身に付けることができるようにする。 放課後補習の時間を活用し、基礎学力の定着に不安のある児童の支援をする。 過去の学力調査の問題に取り組み、文章読解力を高めると共に、学力調査特有の問われ方に抵抗がなくなるようにする。 	
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科も算数科も区の学力調査で、全国平均を上回る結果となった。 算数科のD層が、27.2%から13.3%と大きく減少した。 国語科の記述問題の正答率が高く、文章読解力の向上が見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科の思考力を問われる応用問題の正答率が低い。 		<ul style="list-style-type: none"> 国語科、算数科どちらもCD層の底上げを目指す。 算数科において、応用問題の正答率が低い。したがって、基礎学力の向上とともに思考力を育てていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 国語科では、文章読解力を向上させるために、よむYOMUワークシートに取り組み、読書習慣の定着を図る。 算数科では、問題に対して見通しを立て取り組みさせることで、思考力の向上を目指す。 放課後補習の時間を活用し、復習問題に繰り返し取り組みさせることで、CD層の底上げを目指す。 	